

頭取就任のご挨拶

滋賀銀行 取締役頭取
高橋 祥二郎



皆さまには、平素より私ども滋賀銀行をお引き立て賜り、誠にありがとうございます。

このたび、第12代頭取に就任いたしました。その責任の重大さに身の引き締まる思いであります。

私は、昭和54年4月に滋賀銀行に入行し、その多くの期間、営業活動を中心に銀行員としての道を歩んでまいりました。その間、常に地域経済、そしてお取引先企業の動向を肌を以って感じながら、地域金融機関の果たすべき使命は、営業活動を通じて地域社会・お取引先さまの発展・繁栄に貢献することと心し、努めてまいりました。

日本社会は今、グローバル化の進展に伴う産業構造の変化に加え、少子高齢化による人口構造の変化や地域間格差の拡大、財政再建問題など数多くの社会的な課題を抱えています。特に、人口減少社会を克服して活力ある地域社会を再生する「地方創生」への取り組みは喫緊の課題であり、その実現こそが私たち地域金融機関の果たすべき責務である、と考えております。まさに、地域金融機関は地域社会と共にあるということであり、伝統ある近江商人の「三方よし」の精神を継承した当行の行是「自分にきびしく人には親切社会につくす」を再認識して、「地域密着型金融」をさらに推し進めてまいります所存です。

滋賀銀行は、昭和8年に彦根の百卅三銀行（明治12年設立）と近江八幡の八幡銀行（明治15年設立）が合併して誕生しました。爾来、「健全経営」を堅持するとともに、「進取」の精神を発揮して時代の一步先を見据えた経営を実践してまいりました。この根本精神を改めて肝に銘じますとともに、厳しい環境のなかにこそ成長・発展のチャンスがあるとの認識に立って、未来を切り拓く新たな価値を創造し、地域社会・お取引先さまにご提供してまいります。

また、私は頭取就任に際しまして、当行が今後実現すべき姿として行内外に「未来創造銀行」を目指すことを明らかにいたしました。そして、その実現のために、総合金融・情報サービス業へのさらなる自己変革を図ってまいります。具体的には、常日頃からお客さまとの緊密なコミュニケーションを図り、何かあれば当行へ真っ先（First）にご相談いただき、そのご相談に迅速（Fast）、親切、親身にお応えする「ファースト・コミュニケーションバンク」を目指してまいります。

当行は「未来創造銀行」に向けて、引き続きCSR憲章（経営理念）に掲げる「地域社会」「役員」「地球環境」の3つの共存共栄の実現に全力をあげてまいりますので、なお一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。